

# 全国組織担当者会議 参加報告

2023年6月20日 千葉県連理事長 野田久生  
全国連主催の表記会議に参加しましたので報告します。全国の連盟より多数の組織担当者の参加があり、組織問題について活発な意見交換があり有意義な会議でした。



日 程： 2023年6月10日（土）13:00 ～ 11日（日）12:00

場 所： 福岡県福岡県立社会教育総合センター

参 加 者： 各都道府県連盟（21連盟）30人、全国連盟 役員 10人 計 40人

開催主幹： 福岡県連



会議場 少し古いが立派な施設でした



討議会場

## 会議内容要点説明

### 1. 特別講演 川嶋高志 JWAF 理事長

登山文化の継承・発展が重要。今後期待する二つの制度の説明を行う。

#### 1) ココヘリについて

山岳救助にはココヘリが有効、ぜひ労山会員にもココヘリの利用をすすめる。  
遭難事故一報 ⇒ 救助隊ヘリ出動 ⇒ 捜索・発見 ⇒ 救助

#### 2) コンパスの活用を進める

登山者の全数を把握（一般登山者含めて）するにも有効。  
労山会員にも活用を提案する。コンパスに会独自の計画書を取り込むこともできる？これを提出しておけば全国どこの地区に於いても登山届を出したことになる。（現在では未加盟の地方自治体もある）未組織登山者へも広げていきたいと考えている。スマホで容易に提出できる。

⇒ 千葉県はこれに対応していない

会作成の登山届（電子データ）がコンパスに取り込めるか不明

## 2. 基調報告 久保典子 全国連盟組織部長

本会議は規約3条2項の「広範な登山愛好者の組織化」に基づき、全国各地地方連盟で取り組まれている経験を交流し、組織拡大における特有の悩みや課題などを率直に語り合い、全国の仲間が情報交換できることを目的としている。全国労山の現状を打開し「国民の登山要求にこたえる活動」の運動を前進させるために討議する会議

## 3. 地方連盟からの報告・意見交換 主な内容

- 1) コロナの影響により会員数減少あり。今後の会員増に期待したい。
- 2) 会員拡大には、HP、SNS、Facebook等ネットでの情報発信が有効。
- 3) 連盟、会の役員の成り手がいない。高齢化の影響か。  
⇒ 制度として設けている連盟(会)もある。
- 4) 一般向けの登山学校、講習会はニーズが高く申込者が多い。  
⇒ これにより会員増加になっている。
- 5) 地域の新聞など、地域との連携が重要
- 6) 高齢化問題、避けては通れないが・・・。
- 7) 労山に加盟する意義、メリットが問われている。同好会は多くある。  
⇒ 会員への労山の理念の説明、啓発ができない。社会的認知が必要では…。
- 8) 労山ブランド「権利としての登山」これに磨きをかけ発展が必要。

## 4. 参加しての個人的な感想

- 1) 各地方連盟から活発な報告、意見交換が行われたことは有意義であった。
- 2) 関東圏、大阪圏など規模の大きな連盟と、地方連盟では活動内容、問題、対策などが異なり、一概に議論するには無理がありそう。
- 3) 労山の意義など精神論は、理屈としては理解できるが会員のニーズとは合致していないように感じる。
- 4) どの連盟も「登山を楽しむ」という趣旨の発言があったのは良かった。魅力ある連盟を目指しましょう。

以上



簡素な宿泊室 4人  
自分でベットメイキング



施設での朝のつどい  
宿泊者参加 旗の掲揚



福岡空港  
割安便を利用したの参加